

事業名称	●「DIYサポート型賃貸スキーム」構築による劣化の著しい空き家の流通促進事業
事業主体名	津屋崎空き家活用応援団
連携先	福津市、津屋崎・勝浦・宮司地域郷づくり推進協議会、藍の家保存会
対象地域	福津市
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DIYサポート型賃貸スキームの構築</li> <li>・上記スキームによる空き家の流通促進</li> <li>・空き家の調査・リストデータの構築</li> </ul>
事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の職人によるDIYサポーターズの結成</li> <li>・DIY改修だからこそ老朽化した空き家を活用できる</li> <li>・DIY改修をする借主の改修作業をサポート</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットおよびチラシ等の増刷</li> <li>・空き家調査の実施、データ化</li> <li>・相続・空き家活用セミナーの開催</li> <li>・DIYサポーターズの結成</li> <li>・DIY公開講座の実施</li> </ul>
成果の公表方法	空き家活用応援団のHPで公表 <a href="https://www/tsuyazaki-akiya.net">https://www/tsuyazaki-akiya.net</a>

## 1. 事業の背景と目的

本事業実施の大きな目的は、福津市の旧津屋崎町エリアの既存集落のように、高齢化、空き家の増加が進む田舎地域において、空き家の発生抑制や利活用等を推進することで、多世代による豊かな暮らしの実現とコミュニティの維持を図ることである。また、地域自治への参加に積極的な移住検討者に住替えのコーディネートをすることで、次世代における地域の担い手を増やし、価値あるまちの文化や伝統を継承していくことを目指している。

今回は、これまで活用に結びつけることが難しかった劣化の著しい空き家の活用を課題として設定する。劣化が進んだ空き家活用は改修費用が嵩むため、オーナーはもちろん、サブリース事業者でも手に負えないケースが多かった。安価な賃料設定であれば、ボロボロの空き家でもDIY改修を施して住みたいというニーズは多い。しかしながら、改装・改修のためのDIY技術習得は独学だけでは難しい現実もある。

そこで、地元の建築系職人と新たに連携し、DIY講習会の開催やDIY改修を部分的にサポートする体制を整えることで、借主によるDIY改修をベースにした「DIYサポート型賃貸のスキーム」を構築し、空き家の一層の流通促進につなげるのが本事業の狙いである。

## 2. 事業の内容

### (1) 事業の概要と手順

- ①空き家および予備軍の実態調査・既存データの更新
- ②空き家の相続・活用セミナーの実施
- ③当団体の取組事例・活用事例の HP 掲載
- ④空き家所有者等からの相談対応
- ⑤空き家現地調査の実施
- ⑥空き家事前登録制度の運営
- ⑦空き家の利活用・除却等の提案
- ⑧DIY サポーターズの仕組み構築・運営
- ⑨DIY 公開講座の開催

図 1 : 取組フロー図

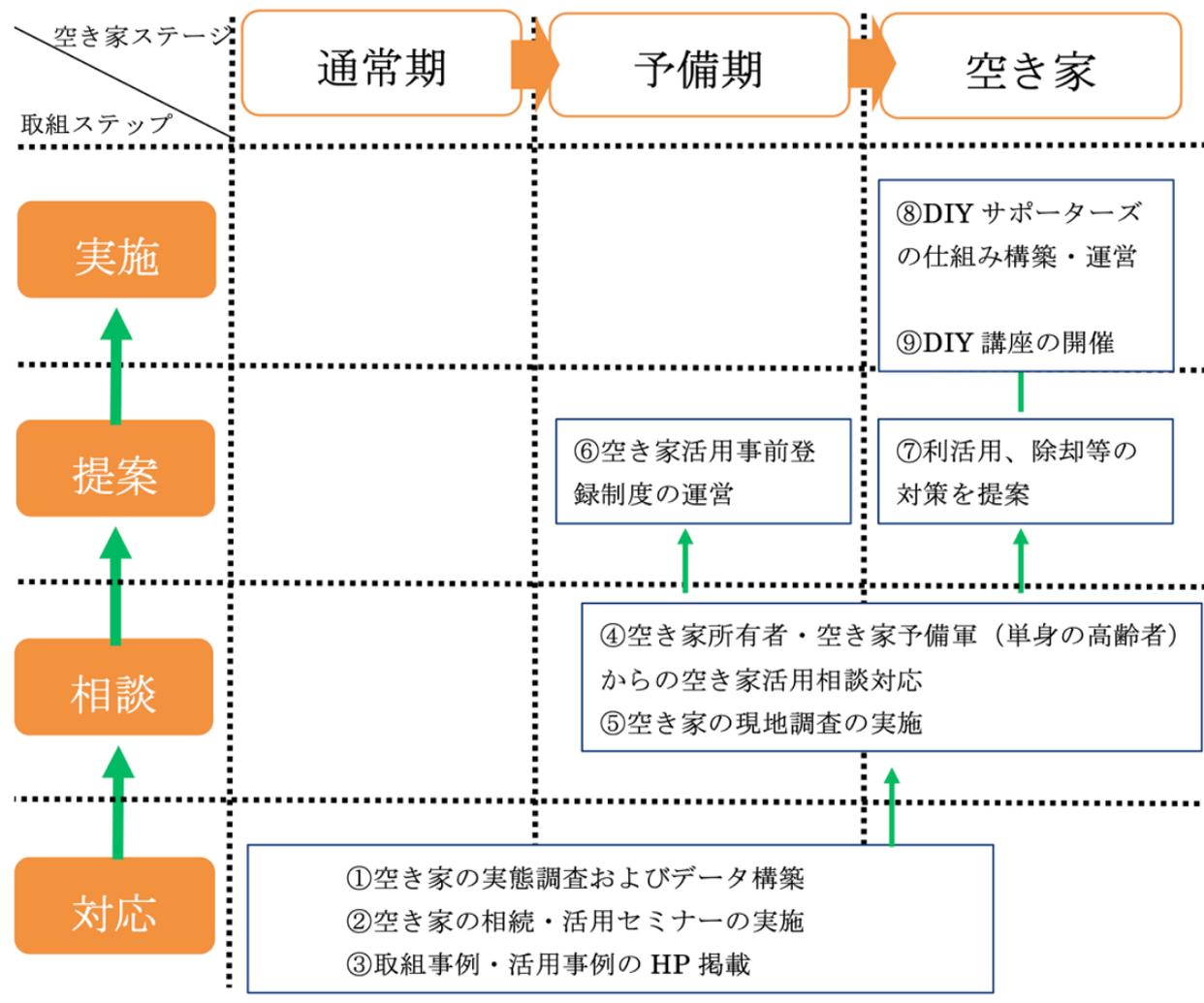


図 2 : 役割分担表

取組内容	具体的な内容(小項目)	担当者(組織名)	業務内容
空き家調査	①空き家および予備軍の実態調査 既存データの更新	松見礼治(郷づくり協議会) 古橋範朗(暮らしの間屋)	自治会や地区住民との連携による 調査業務
空き家対策の 啓蒙	②空き家の相続 活用セミナーの実施	小坂健太郎(小坂司法書士事務所) 高田浩志(市役所)、古橋範朗	セミナーテキストの取りまとめ・広報
	③当団体の取組事例 活用事例のHP掲載	古橋範朗	ホームページのデザイン更新と取組 事例掲載ページの新規創設
相談事務実施	④空き家所有者等からの相談対応	古橋範朗	予約の受付・窓口での相談対応
	⑤空き家現地調査の実施	金氣順也(金氣建築工房)、古橋範朗	空き家実際に実際入って構造、傷み具合 を把握。改修費用の見積もりを作成
空き家の予防	⑥空き家事前登録制度の運営	古橋範朗	チラシの増刷・回覧版手配
空き家の 活用促進	⑦空き家の利活用・除却等の提案	金氣順也、古橋範朗	空き家の利活用プランの提案
	⑧DIYサポーターズの仕組み構築・運営	金氣順也、古橋範朗	DIYサポーターズの組成、DIY可能 物件の掘り起こし
	⑨DIY公開講座の開催	金氣順也、古橋範朗	DIY講座のプログラム作成・実施

図3：事業実施スケジュール表

ステップ	取組内容	具体的な内容(小項目)	令和2年度							
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対応	空き家調査	①空き家および予備軍の実態調査 既存データの更新								
	空き家対策の 啓蒙	②空き家の相続・活用セミナーの実施				○	○			
		③当団体の取組事例・活用事例のHP掲載							○	
相談	相談事務実施	④空き家所有者等からの相談対応								
		⑤空き家現地調査の実施								
提案	空き家の予防	⑥空き家事前登録制度の運営								
	空き家の 活用促進	⑦空き家の利活用・除却等の提案								
実施		⑧DIYサポーターズの仕組み構築・運営								
		⑨DIY公開講座の開催				○	○			

(2) 事業の取組詳細

## ① 空き家および予備軍の実態調査・既存データの更新

福津市旧津屋崎町エリア（宮司地域、津屋崎地域、勝浦地域）約7,000世帯を対象に空き家の巡回調査を実施した。調査方法としては、外観の目視および地域住民への聞き込みによる。空き家としての確認ができた物件については、法務局にて登記簿データ（建物および土地の全部事項証明書、必要があれば字図）を取得し、記載された空き家の所有者事項を元にデータベースを更新した。

空き家調査員は臨時スタッフとなるため、調査方法についての研修を実施した上で、調査業務とデータ更新業務に従事してもらった。データ更新後は、空き家所有者に向けて、当団体のパンフレットや無料相談窓口の案内チラシ、相続&空き家活用のセミナー告知チラシ、これまでの空き家活用事例集等の資料送付に従事してもらった。

写真1：活用事例のチラシ

**津屋崎 空き家活用 応援団** **空き家活用プランとこれまでの活用事例**

津屋崎空き家活用応援団が提案している標準的な活用プランと活用事例です。  
「まちを豊かにする」をコンセプトに、様々な活用支援を実施しています。

① 空き家活用に必要なことは全て私たちにお任せください。

活用プランのご提案	リフォーム費用の全額負担	入居者・利用者の募集	建物の管理トラブルの対応
-----------	--------------	------------	--------------

② 空き家の条件や大家さんのご希望に沿って、主に2つの活用プランを提案しています。

●全部おまかせプラン

「空き家活用に関わることは全て任せたい」という方に向けたプランです。リフォーム費用やメンテナンス費用を、空き家活用応援団が全額負担し、さらに賃料の一部（10～20%以上）を大家さんに還元いたします。



Before: 築50年 7年間空き家      After: 和モダンに改装

●大家さんこだわりプラン

「空き家の活用方法を自分でも考えたい」という方に向けたプランです。リフォーム、メンテナンス費用は大家さんにご負担いただく場合があります。賃料の一部（10～30%以上）を大家さんに還元いたします。



Before: 築80年 3年間空き家      After: 和カフェに活用

## ② 空き家の相続・活用の相談・啓発セミナー実施

11月28日、12月5日に相続と空き家活用に関する無料セミナーを開催した。地域の司法書士の先生

を講師にお招きし、相続や遺言についての基礎講座を実施すると同時に、当団体の活動内容や活用実績についてプレゼンテーションを行った。セミナー終了後には個別相談の時間を設けて、司法書士および当団体のメンバーが参加者からの個人的な相談を受け付けた。

写真2：セミナーチラシ

**相続対策 & 空き家活用 連続セミナー開催**

空き家の  
お悩み解決!

# 知って役立つ

## 空き家活用と相続のお話

**参加  
無料**

空き家についてお悩みの大家さんに向けて、  
相続・活用のための基礎知識を学べるセミナー開催！  
空き家をお持ちでない方ももちろん参加できます。  
お気軽にご参加ください。



**11月28日(土)**

空き家の現状・問題点と相続の基本

【講師】司法書士 小坂健太郎先生

**12月5日(土)**

空き家予防・相続対策としての遺言

【講師】司法書士 小坂健太郎先生

まちが豊かになる空き家活用

【講師】津屋崎空き家応援団 古橋範朗



司法書士 小坂健太郎先生  
司法書士 小坂事務所 (古賀市)  
福岡県司法書士会・空家等対策委員会所属。  
相続財産管理人・不在者財産管理人などの  
業務を通して空き家関連事業に取り組む。

**講師**



津屋崎空き家活用応援団  
団員 古橋範朗  
福津市の空き家活用・管理・売却  
等、様々な相談に対応している  
専門家集団です。

**時間** 13:00～15:00      **会場** 福津市中央公民館

両日セミナー終了後、講師への無料相談ができます。(お一人様10分/申込順先着3名様)

▼ FAXでのお申込の方は、下記の枠にご記入の上、この面をそのままFAX送信してください。  
FAX **0940-52-0650**

参加日程に○をつけてください。	● 両日参加	● 11月28日(土)のみ	● 12月5日(土)のみ
セミナー後の個別無料相談【空き家の相談・相続の相談】※申込順先着3名様となります。ご了承ください。			
個別相談を希望される方は、 どちらかの日程に○をつけてください。			
● 11月28日(土)相談希望		● 12月5日(土)相談希望	
氏名	参加 人数	名	電話番号

▼ E-mail でのお申込の方は、参加日程・氏名・人数・電話番号・個別相談の有無を入力の上お送りください。  
E-mail [info@tsuyazaki-akiya.com](mailto:info@tsuyazaki-akiya.com)

お問合せ TEL 0940-52-9610 (津屋崎空き家活用応援団 古橋)

企画・主催：福津市、津屋崎空き家活用応援団／協力：勝浦地域郷づくり推進協議会、宮司地区郷づくり推進協議会、津屋崎地域郷づくり推進協議会

### ③ 当団体の取組事例・活用事例のHP掲載

当団体が過去に手がけた空き家活用の事例をHPに掲載できるように、ホームページのデザインをリニューアルした。また、自社で使用しているホームページ制作ソフトのサポートが切れるため、最もメジャーで汎用性の高いホームページ制作ソフト「Wordpress」での製作に移行。これにより、ページの更新業務やコンテンツの追加業務のハードルが下がった。

### ④ 空き家所有者等からの相談対応

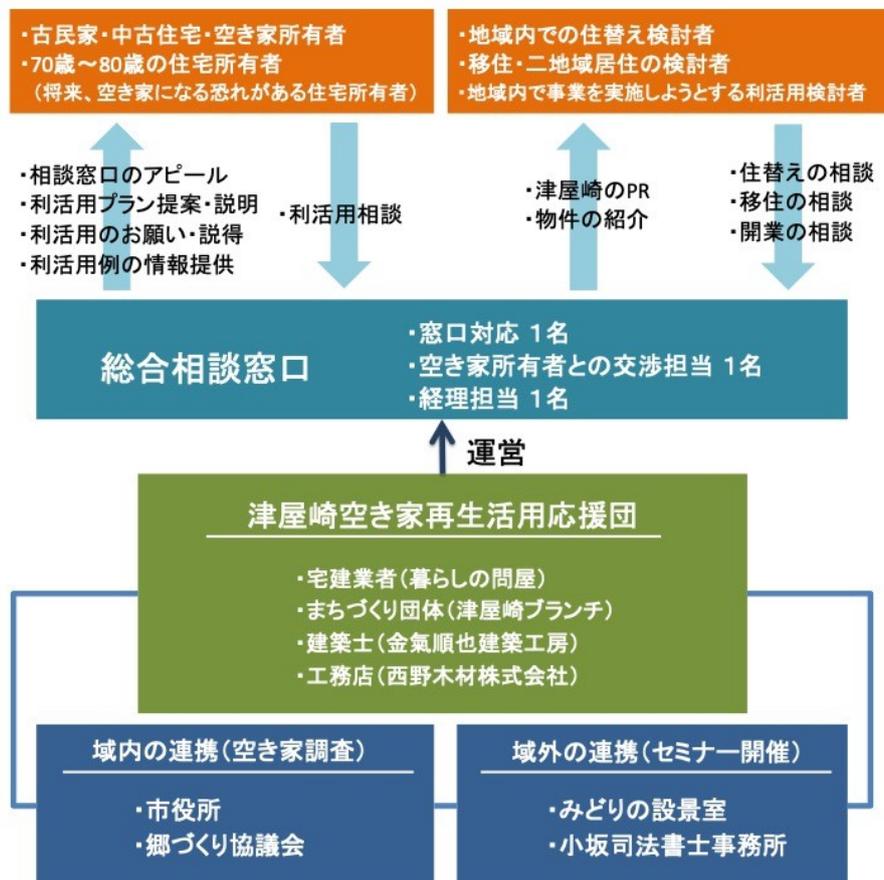
津屋崎空き家活用応援団は、不動産業者（暮らしの間屋）、建築士（金氣順也建築工房）、地元工務店（西野木材）、津屋崎ランチ（まちづくり団体）を構成員として、空き家の所有者および空き家への入居希望者を対象とした、無料相談窓口を開設している。相談窓口にて相談員を務めるのは、構成員である不動産業者のメンバーである。空き家所有者から寄せられる、売却や賃貸等を具体的に検討するフェーズに達していない空き家についての様々な相談をワンストップで受け付けている。

一方で、空き家への入居希望者（主には移住相談者）に対しても、無料相談を受け付けている。主には福岡県内や関東圏からの移住相談が多い。特に今回はコロナ禍の影響で、リモートワークによる移住や二地域居住などの相談が数こそ少ないものの、よく目立った。

移住希望者は不動産情報だけでなく、各地域のコミュニティの特性、移住後の生活についてなど、生きた情報を求めていることが多く、不動産業者では対応しづらい町歩きや先輩移住者の紹介、地元のキーパーソンの紹介等を細やかに実施している。

空き家の所有者と入居希望者、双方向への相談窓口を運営することにより、それぞれの情報を同時に集めることができる。情報が集約されることで、空き家と入居希望者のマッチングが容易になり、実際の利活用へとスムーズに移行することができる。

図4：相談窓口の体制図



⑤ 空き家現地調査の実施

空き家所有者からの相談があると、当団体から専門相談員と建築士を現地に派遣する。そこで建物状況調査（無料）を実施すると同時に、空き家所有者の活用意向（賃貸・売買・居住・管理・除却）や予算、スケジュールなどについて細かくヒアリングをする。その後、活用意向に合わせた利活用プランを作成して提案する。

⑥ 空き家事前登録制度の運営

空き家予備軍と言われる単身の高齢者世帯を対象に、空き家になった場合に備えた建物調査や価格査定（売却額・賃料）を実施する「おうち思い会員制度」を運営している。対象となるのは、空き家予備軍と言われる単身の高齢者世帯とその家族である。近い将来に空き家となる可能性が高い場合に、「おうち思い会員」として登録することで、将来空き家になった場合の活用プランの提案（賃貸・売買・居住・管理・除却）が受けられる。所有者は同プランをもとに予め家族と活用方針・措置を相談、検討しておくことができるため、近い将来、空き家になった場合にも、相続者が利活用のフェーズへとスムーズに移行できる。このようにして空き家の発生予防につながることを期待している。

写真3：おうち思い会員チラシ

津屋崎 空き家活用 応援団

家と家主様のつながりを大切にします！

自宅や実家が将来空き家になる

空き家になった場合に家を活用して欲しい

**おうち思い会員 募集中!** 会員無料

【協力】福津市/津屋崎地域づくり推進協議会/勝浦地域づくり推進協議会/富岡地区づくり推進協議会/津屋崎千代民俗館 監の会保存会

**会員無料 おうち思い会員とは？**

将来空き家になる可能性がある 空き家になった場合、活用したい 事前に活用プランを決められる

将来に備えてご家族と一緒にプランを検討することができるので、いざという時の手続きもスムーズに行えます。

【登録までの流れ】

- 1 電話やメールでお問合せください。詳しい説明や疑問・質問にお応えします。
- 2 会員登録は書類に記入するだけ
- 3 会員限定！活用プランを受けられます。建築士とともに、現地調査に伺います。将来のプランをご提案
- 4 ご家族で相談しプランをお選びください
- 5 会員ステッカーは玄関先へ貼り付けをお願いします

【よくある質問】

Q 荷物が置いてあるけど、大丈夫？  
大丈夫です。現地調査の際、家具を移動して建物状況を確認させていただきます。

Q 登録に費用はかかりますか？  
登録の相談、登録ともに無料になります。年会費等も一切かかりませんのでご安心ください。

Q 改修工事費用も分かれますか？  
はい、ご希望のプランに応じた改修工事費用のお見積りまでお出しします。

Q 倉庫や店舗、空き地なども対象になりますか？  
はい、会員登録の対象になります。山林や休耕地や、家の建れなどの部分的な活用もお気軽にご相談ください。

**ご家族でどうぞ！ 追加無料 おうちのこと茶話会**

ついつい目を背けたくなるような事情や他の家はどうかという疑問も、同じ境遇の参加者同士話をする事で心が軽くなります。また、私たち専門家に自宅や実家、空き家についての相談もできます。開催については伊・田・寛・廣・広 相談等でご案内いたします。

津屋崎 空き家活用応援団  
不動産 暮らしの間屋 店主 古橋 龍朗  
金銭建築工房 一級建築士 金氣 順也  
西野木材(株) 代表・一級建築士 西野 浩太郎  
まちおこし団体 津屋崎プランナー 代表 山口 寛

お気軽にご連絡ください！  
TEL **0940-52-9610** (暮らしの間屋 内)  
【受付時間】9:00~17:00 水曜・日曜休み  
E-mail **yoyaku@tsuyazaki-akiya.com**  
住所 〒811-3304 福岡県福津市津屋崎4丁目15-17

⑦ 空き家の利活用・除却等の提案

空き家相談や空き家予備軍の相談があった場合で、所有者に活用の意思がある場合は、利活用プランの作成を行っている。まずは現地の建物調査を実施し、建物の改修プランや賃貸プラン（定期借家、DIY賃貸、サブリース賃貸、借主による改修費負担の仕組みなど）の検討を所有者と行う。また、物件が属する地域の行事や自治制度の内容なども自治会毎に確認を行い、地域性に馴染むことのできる具体的な借主像の想定まで行っている。

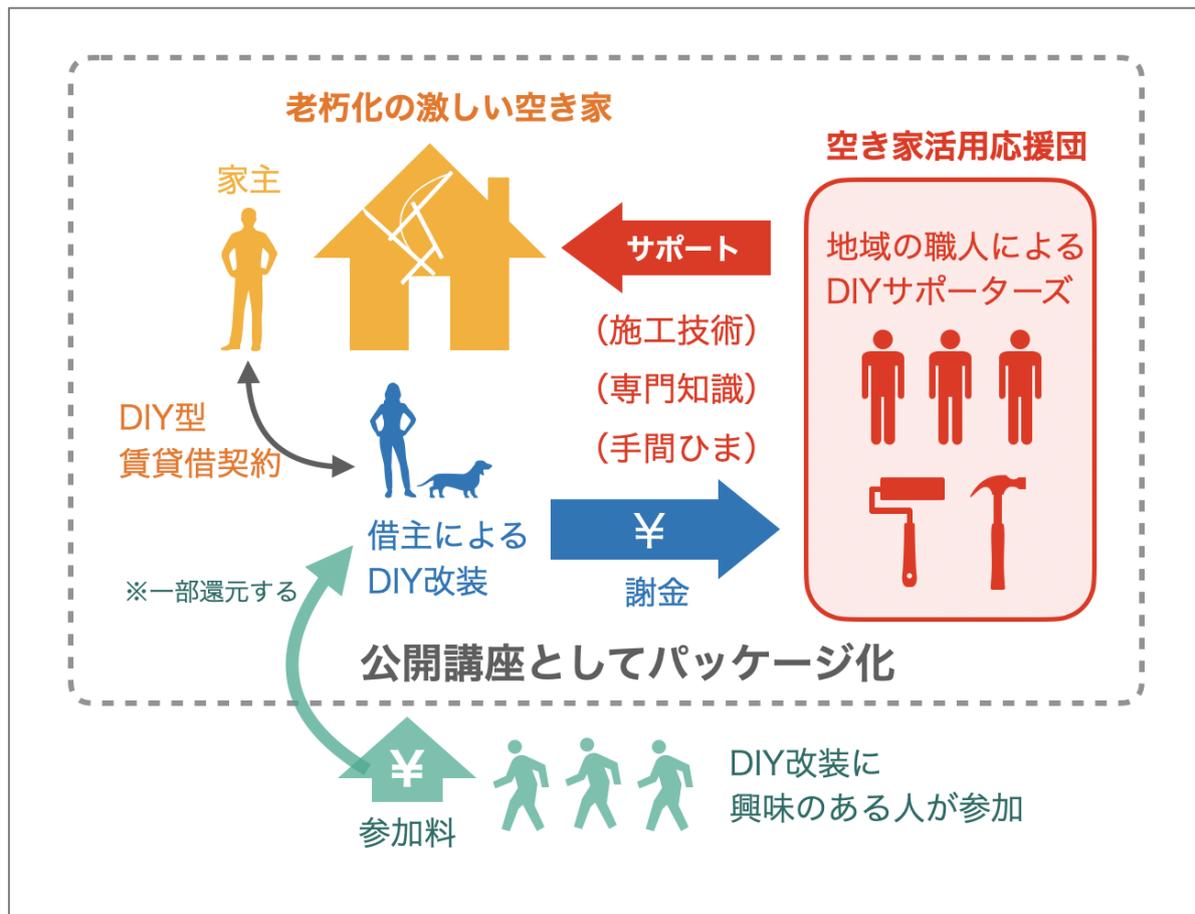
所有者の予算規模に合わせた改修内容、活用プランを提案し、借主想定まで行っておくことで、所有者は活用された場合のイメージを膨らませることができ、活用に積極的になってくれるケースが多い。

⑧ DIYサポーターズの仕組み構築・運営

DIYサポーターズは空き家を借りる借主から依頼を受けて、DIY改修の技術的な指導をするために派遣される。また、現場におけるDIY改修技術を広くシェアするために、次項で説明するDIY公開講座という形をとって、参加者を募集する。参加者は参加費を支払って参加するが、それらの参加費がDIYサポーターズの講師料となるため、参加者が多いほど、借主が負担する講師料は少なくて済む。

借主は自身が借りる家を講座会場として解放することで、実質的に無料または低料金でDIYサポーターズによる技術指導を受けることが可能になる。また、こうしたDIY賃貸物件が増えることで地域にDIY人口が増えていき、長期的には老朽化の著しい空き家を1棟でも多く活用することができるのではないかと期待している。

図5：DIYサポーターと型賃貸スキームの仕組み図



⑨ DIY公開講座の開催

今回はコロナ禍およびそれに係る緊急事態宣言発令の影響により、DIY公開講座の頻度は少なからざるを得なかった。一般的な住宅を会場としたDIY講座は、狭い室内にて密の状況を作りやすいため、開催事態が叶わなかったケースもあった。参加者の募集もSNSを中心に限定的に声をかけるよう工夫した他、DIY講座の会場も屋外を基本としたり、広い空間が確保できる元旅館のみに限定したりした。

(3) 成果

(ア) パンフレットおよびチラシの増刷

回覧板および各戸配布も視野に入れて、チラシの増刷を図った。デザインは特に前回のままである。福津市役所をはじめ、津屋崎、勝浦、宮司それぞれの公民館やコミュニティセンター、図書館、自治会事務所、信用金庫、農協等に設置している。

写真 4, 5, 6 : パンフレットおよびチラシ

#### (イ) 空き家調査の実施とデータベース化

空き家および空き家予備軍の実態把握調査を実施し、104件の空き家について、所有者名、住所、管理状態等を入力した詳細なデータベースを更新することができた。これらのデータベースを利用して、空き家の所有者に向けて利活用を提案する資料（当団体のパンフレット、相談窓口のチラシ、主な活用プラン事例）を送付することができた。

このうち約30件は、相続登記または住所変更登記が済んでおらず、宛名不明で戻ってきた。一方で空き家の所有者3人から活用についての電話相談があり、現地調査等を実施することができた。

#### (ウ) 空き家の相続・活用の相談・啓発セミナー実施

11月28日、12月5日に、津屋崎行政センターにて、相続と空き家活用に関する無料セミナーを開催した。合計12名の方に参加いただけた。引き続き、相続やエンディングノート、家族信託等、空き家に関わりの深いテーマを題材にしたセミナーの開催や訪問相談を実施することで、1件でも多く活用相談やおうち思い会員制度への入会を増やしていきたい。

#### (エ) DIYサポーターズの結成

地元の元大工1名、設計士2名に声をかけ、DIYサポーターズを結成した。メンバーは合計3人と現状はまだ少ないものの、今後左官職人や板金職人などに声をかけ、徐々に輪を広げていきたいと考えている。

#### (オ) DIY公開講座の開催

今回はコロナ禍およびそれに係る緊急事態宣言発令の影響により、DIY公開講座の頻度は少なからざるを得なかった。一般的な住宅を会場としたDIY講座は、狭い室内にて密の状況を作りやすいため、開催事態が叶わなかったケースもあった。

参加者の募集もSNSを中心に限定的に声をかけるよう工夫した他、DIY講座の会場も屋外を基本としたり、広い空間が確保できる元旅館のみに限定したりした。

##### ① 元玉乃井旅館の天井改修ワークショップ

開催日：11/14(土)、15(日)、2/22(月)

講師：牛島智子・金氣順也

内容：和紙アートによる天井改修

参加者：延べ14名

告知：DMおよびSNS

写真7, 8：ワークショップの様子



- ② 古倉庫の解体ワークショップ  
開催日：10/26(月), 11/13(金), 11/14(土), 11/19(木), 11/20(金)  
講師：池辺恵  
参加者：延べ21名  
告知：DMおよびSMS

写真9, 10：ワークショップの様子



### 3. 評価と課題

- ① 空き家および予備軍の実態調査・既存データの更新  
空き家調査は福津市も4年に1回、独自の調査をしている。連携体制のもと、そのデータを参照できるようになると効率化を図れるが現在のところ、そこまでは至っていない。調査の重複を避けるためにも、新しい連携のあり方を考えるべきである。
- ② 空き家の相続・活用の相談・啓発セミナー実施  
今年は寒さとコロナ禍の影響で、参加者数は少なく物足りなかった。回覧板での参加者募集を呼びかけたが、効果は少なかった。今後はコストはかかるが全戸配布となる市報へのチラシ折込を検討したい。
- ③ 当団体の取組事例・活用事例のHP掲載  
ホームページを更新したことで、見やすさ、情報量は多くなったが、そもそものアクセス数をどう伸ばせるかというのが今後の課題である。
- ④ 空き家所有者等からの相談対応  
まだまだ空き家所有者からの相談件数自体が少なく、どのように件数を伸ばしていけるかが今後の課題である。特に福津市は人口が増えており、まちなみを守っている古民家が突如解体されて複数棟の建売住宅が建って景観が崩れるというケースが後を絶たない。経済合理性のもと、文化や伝統が失われていく光景は看過できない。
- ⑤ 空き家現地調査の実施  
現地調査では、毎回、建築的視点からの考察を建築士からもらっており、空き家所有者の満足度も高い。引き続き、同様の体制で実施していきたい。
- ⑥ 空き家事前登録制度の運営  
おうち思い会員制度の利用は本事業でも1件のみと振るわない。そもそもの認知度も低いのも原因と考えられる。回覧板での周知や、空き家予防のためのセミナー等を開催して、新規の登録者を獲

得していきたい。

⑦ **空き家の活用・除却等の提案**

計画通りに遂行できた。ただし、今後相談件数が増えた場合には、提携する建築士や専門相談員がそれぞれもう一人必要になるものと思われる。

⑧ **DIYサポーターズの仕組み構築・運営**

DIYサポーターズは計画通りに構築できた。ただ、コロナ禍ということもあり、サポーターズの派遣等の運営のところがうまく稼働できなかった。

⑨ **DIY公開講座の開催**

今回はコロナ禍およびそれに係る緊急事態宣言発令の影響により、講座の開催頻度は当初の予定よりも少なかった。募集も広くはかけられないため、チラシやパンフレットの製作は見送った。来年度に向けて準備を進めていきたい。

#### **4. 今後の展開**

今後もコロナ禍の状況は続くと考えた上で、相談窓口の運営方法、情報発信の方法を模索していく必要性を感じている。具体的には、移住相談のオンライン化や改修事例などのウェブでの共有、相続等のオンラインセミナー開催などが挙げられる。ただし、空き家所有者は60代以上が多いため、オンラインコンテンツへアクセスは見込めない。やはりこれまでの紙媒体での周知方法を徹底していく必要がある。本事業の狙いの一つとして掲げたDIYの普及を図るためには、オンラインでDIY講座を実施するという方法も有効であるため、検討していきたい。

(ア) **相談窓口業務の継続と訪問相談員の確保**

引き続き、空き家相談窓口と空き家活用事前登録制度を運営していく。これまで課題だった訪問相談員の募集については、主婦や若者など、特に自治会等の地域密着度にはこだわる必要はないと考えている。「おうち思い会員制度」を空き家予防策とし、発生した空き家については、相談窓口でこれまで通り対応していきたい。

(イ) **空き家予備軍も対象のセミナーのシリーズ化**

空き家所有者だけでなく、空き家予備軍である単身高齢者世帯およびその親族を対象にした空き家関連のセミナーを隔月でシリーズ化して開催する。

テーマとしては、本年度実施した「相続」以外にも、「エンディングノート」「荷物の整理収納」「葬儀関係」「DIY修理」「賃貸経営」など、様々なものが考えられる。多様なテーマを設定することで、参加者の層を広げるとともに、空き家を活用する潮流を作る。

(ウ) **DIYサポート型賃貸スキームの普及**

コロナ禍で足踏み状態となったDIY公開講座をセットにしたDIYサポート型賃貸スキームについては、引き続きコロナ後の普及を目指して準備を進めていきたい。そのために、DIYサポーターズのメンバー追加やコロナ対策も講じたDIY公開講座の実施を検討していく。

(エ) **不要な家財道具や解体時の古材の流通について**

空き家活用時に出る家財道具や空き家除却の際に出る古材については、流通の仕組みを構築したいと考えている。具体的には、倉庫等に保管してガレージセールをしたり、古材を必要としている改装現場への提供を視野に入れている。それらは適正価格で販売することで団体の運営経費にも回すことができる。

(オ) **自主事業による展開の模索**

毎年上がる展望ではあるが、補助事業による単年度予算では、雇用が臨時的にならざるを得ない

ため、自主財源での事業運営にシフトしていけるような体制を構築していきたい。前項の古材流通の体制構築や、古民家等のサブリースを視野に入れている。

■事業主体概要・担当者名			
設立時期	平成 27 年 8 月		
代表者名	山口 覚		
連絡先担当者名	0940-52-9610 古橋 範朗		
連絡先	住所	〒811-3304	福津市津屋崎 4-15-17
	電話	0940-52-9610	
ホームページ	<a href="http://www/tsuyazaki-akiya.net">http://www/tsuyazaki-akiya.net</a>		